

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム 下の茶屋

(ユニット名)

秋桜(コスモス)

記入者(管理者)

氏 名

高橋 涼子

評価完了日

19年 8月 20日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月16日

【評価実施概要】						
事業所番号		3890500030				
法人名		株式会社 お茶屋の里				
事業所名		グループホーム 下の茶屋				
所在地		新居浜市西の土居町二丁目8番23号 (電話) 0897-36-5139				
管理者		高橋 涼子				
評価機関名		特定非営利活動法人 JMACS				
所在地		松山市三番町六丁目5-1 9 扶桑ビル2階				
訪問調査日		平成19年9月4日	評価確定日	平成19年10月16日		
【情報提供票より】 (平成19年8月20日事業所記入)						
(1) 組織概要						
開設年月日		平成18年11月1日				
ユニット数		2 ユニット	利用定員数計	18 人		
職員数		16 人	常勤	15人, 非常勤 1人, 常勤換算 15.7人		
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)						
家賃 (平均月額)		48,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる		
敷 金		有 (円) (無)				
保証金の有無 (入居一時金含む)		有 (円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無		
食材料費		朝食	400 円	昼食	400 円	
		夕食	400 円	おやつ	円	
		または1日当たり 1,200 円				
(3) 利用者の概要 (平成19年8月20日現在)						
利用者人数		17 名	男性 7 名	女性 10 名		
要介護1		4 名	要介護2	3 名		
要介護3		6 名	要介護4	2 名		
要介護5		2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均	85 歳	最低	75 歳	最高	95 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算						
指定	あり・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護				
指定	あり・なし	指定認知症対応型通所介護				
届出	あり・なし	短期利用共同生活介護				
加算	あり・なし	医療連携体制加算				

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】	
●近所の方達が声をかけてくださったり、利用者からも声掛けをされ、利用者と地域とのつながりを大切にされている。 ●事業所では「ゆっくり、ゆったり、急がない」をモットーに利用者とかかわっておられる。精神的に不安定な方については、主治医から利用者に無理強いしないよう指導を受け、職員で共有して取り組まれている。 ●ほうずきや草花を飾り、季節を感じられる空間作りをされている。長椅子等を利用し、利用者同士がお好きな場所でおしゃべりできるよう工夫をされていた。	
【質向上への取組状況】	
▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目:外部4)	
・前回の評価結果を受けて玄関周りに花等を置き、利用者の馴染みやすい雰囲気作りに取り組まれた。	
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目:外部4)	
・全職員で自己評価に取り組まれ、管理者がまとめられた。	
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目:外部4, 5, 6)	
・職員から防災訓練実施の状況等の説明をされたり、地域の方から事業所での食事について質問があり、食事作りの様子をビデオに撮って紹介された。	
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目:外部7, 8)	
・家族会を年に1回開催し、ご家族の希望や要望を聞き取るようにされている。	
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目:外部3)	
・地域の運動会では、利用者が借り物競争に参加された。中学生の体験学習を受け入れておられる。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			近所だから、昔ながら住んでいるところだからと入所を決めて下さった方も多く、今までの繋がりを切らないで生活できることを望み、作り上げている。	※	自治会長や民生委員とのつながりが深く、私達の理念を共感、賛同、応援してくれている。
			(外部評価)		
			事業所では「地域の中で交流やふれあいを密にして、楽しく生きがいをもてるように」という理念を掲げ、地域の方達との交流に努めておられる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念は職員と話し合いながら作った。 毎朝、一つ読みあげ（日勤）特に意識して利用者と関わり、ケアしている。	※	今後も一層、実践に向けて取り組みたい。
			(外部評価)		
			申し送り時等に理念を職員で確認し合っておられる。 近所の方達が声をかけてくださったり、利用者からも声掛けをされ、利用者と地域とのつながりを大切にされている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			今年度作り直した新しい理念は、説明と共に、家族に郵送している。ホーム便りや訪問時にも地域の中での生活を報告していきたい。	※	家族会や運営推進委員会でも広めていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 事業所前の遊歩道を毎日散歩しているうち、近所の人と声をかけ合ったり、花や木になっているくだものを頂いたりする。	※	声をかけてはいるが、立ち寄ってもらえるようなホームにしたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 運動会、文化祭、太鼓祭り等、行事に参加させてもらい、交流を深めている。	※	今後ますます積極的に参加したい。
			(外部評価) 地域の運動会では、利用者が借り物競争に参加された。中学生の体験学習を受け入れておられる。	※	さらに、事業所では今後、幼稚園や小学生との交流も行なっていきたいと考えておられた。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 散歩や近所の人との交流の場である散歩道を月に1回職員みんなで掃除をしていくことにした。	※	始めたばかりである。さらに役に立てることはないか話し合っていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 一年間の反省を見直しの機会と思っている。評価の3ヶ月程前から会議やミーティングの時、改善に向けて話し合いをしてきている。	※	新しい職員もいるので、全員に浸透させていきたい。
			(外部評価) 全職員で自己評価に取り組まれ、管理者がまとめられた。前回の評価結果を受けて玄関周りに花等を置き、利用者の馴染みやすい雰囲気作りに取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			始めてから1年が過ぎ、次が7回目になる。 地域の人も積極的な参加に、意見や質問を 頂いている。職員も管理者以外に1人参加している。	※	呼びかけはしているものの、家族の参加は少ない。 今後、色々な家族に参加してほしいと思っている。
			(外部評価)		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			成年後見制度を一緒に取り組んでおり、行き来する 機会は増えている。		
			(外部評価)		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			研修には参加するようにしている。 現在1人の利用者が成年後見制度の手続きを している。		
			(外部評価)		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待についての研修は事業所内で何度も行っており、 注意・防止に努めている。	※	今後も学習の機会をもったり、他所での研修にも 積極的に参加したい。
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)		
			契約書にそって丁寧に説明をし、契約を結んでいる。解約の時は、十分話し合い、納得のいく退居先へ移ることができるよう支援している。	※	利用者、家族の不安を解消できるよう、今後も十分な説明をしていく。
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)		
			言葉には積極的に耳を傾けるようにしている。また言葉で表せない利用者には表情やそぶり等から察する努力をし、毎日のミーティングに反映している。	※	常に謙虚に利用者の気持ちにそえるよう、努力していきたい。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価)		
			面会時には、最近の様子を知らせるようにしている。県外の家族には電話して知らせている。(月1回又は必要に応じて)	※	健康状態やその他気になることは電話にてすぐに連絡している。今後も連絡の必要性を感じている。
			(外部評価)		
			健康状態・受診結果・気になることは、いち早く電話で報告されている。又、日々の様子は、ホーム便りやお手紙等で知らせておられる。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)		
			契約時に説明もし、意見箱も設置している。ホーム便りにも時々載せたり、家族会でも説明している。	※	今後も家族の意見等謙虚に耳を傾けていきたい。
			(外部評価)		
			家族会を年に1回開催し、事業所で行なう敬老会にご家族の方達にも参加いただけるよう呼びかけておられ、ご家族の希望や要望を聞き取り、反映できるよう努めておられる。	※	ご家族が集まるような機会に意見を出していただけるよう、働きかけていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 機会を設け、意見や提案などよいと思うものは、取り入れている。反面、不満や苦情は言いにくい事でもあり、把握できにくい。	※	全体のミーティングだけでなく、個別面談も行っているが、今後一層1人1人の声にも耳を傾けていきたい。	
		(自己評価)				
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 交代勤務にて、必要に応じて柔軟性を持たせ、ローテーションを組んでいる。管理者がシフトを離れ、柔軟に対応できるようにしている。	※	突然の離職もあった為、ゆとりのある職員数が今後の課題である。	
		(自己評価)				
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動は最小限に抑えている。交代の場合は、ケアの伝達を正確に行い、利用者が戸惑わないようにしている。	※	異動の時は、引き継ぎの期間を十分取りたいと思うが現実にはなかなか難しい。余裕のある人数体制が必要である。	
			(外部評価)			
			系列の施設間で異動はあるが、しっかりと引継ぎを行なうようにされている。ホーム便りで職員の異動についてお知らせされたり、事務所前には、職員の名前と写真が掲示されていた。			
5. 人材の育成と支援						
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修は1年の計画を立て、全職員が参加できるようにし、内容も報告し合っている。事業所内の研修も定期的に行っている。		意欲的に参加できるようにしていきたい。	
			(外部評価) 県GH協議会主催の職員研修の年間計画表に基づき、全職員が順番で研修を受講できるようすすめておられる。研修受講後は、勉強会で他の職員へ報告をされている。	※	今後も事業所の運営に必要な知識や技術について研修を重ね、勉強会を持ちたいと考えておられた。	

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			管理者同士の交流はあるが、職員は今まで無かった。今年から相互研修に加わることになり、ネットワーク作りの第一歩と思っている。	※	研修を通じて、いろいろな刺激を受け、質の高い向上を目指したい。
			(外部評価)		
			市内グループホームの管理者同士の交流があり、今後は職員も参加することとなっていた。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			運営者は定期的に親睦の場を作り、交流や気分転換が図れる機会を作っている。休憩時間はあるが、休憩場所が少ない。	※	運営者と職員と個々に話す機会を多くしていく。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			管理者に任されている所もあり、管理者を通じて取り組みできている。	※	21番と同じで、話す機会を多く持つことが大切だと思っている。
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			見学もすすめ、訪問もし、環境が変わる事への不安をできるだけ解消するよう努力している。	※	努力はしているが、情報が少ないことも多く、利用するまでに把握は難しい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族から直接話を聞いたり、担当ケアマネージャーと話し合ったりしながら、家族の立場に立って、受け止め、安心して生活できるように努力している。	※	引き続き努力していきたい。
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 見学の後、本人に適した生活環境であるか、話し合い、場合によっては他GHや他のサービスを勧めたりしている。		いろいろな情報収集が必要である。
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入所前の見学時に、居間でお茶やおやつを一緒にとったり、体験入所をしている。不安が強い人には慣れるまで家族に泊まってもらったりしている。 (外部評価) 入居時、夜間ご家族に宿泊していただいたり、職員が対応する等、利用者の状態やご家族の都合に合わせ、ご本人が事業所に馴染んでいただけるよう支援されている。	※	新しい環境に慣れ、安心して生活できるよう、柔軟な対応で家族と相談しながら工夫していきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 食事の後片付けを「スタッフに任せきりじゃ悪い」と気を使い、自ら台所に立ち、職員を支えてくれる。職員もそういう利用者の優しさを尊敬する。 (外部評価) 職員は、利用者から料理のことや畑仕事・季節の行事などについて教えていただくことがある。利用者が娘さんに会えるよう支援されたり、ご家族との関係を取り戻せるような支援もなされている。	※	家事の一連の作業を職員とすることにより、会話ははずみ、お互い支え合う関係を築いている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時には日常の出来事など知らせるようにしており、会話に出てくる昔のことなども聞いたりしている。 家族も含めてのグループホームでの生活だと思う。		
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時にはゆっくり過ごせる場を作り、外出や外泊も支援している。行事への参加も呼びかけている。	※	誕生日や行事など、家族が参加しやすい環境を増やしていく。気軽に参加しやすいよう、ホーム便りに載せたりして案内する。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 今までにしてきた習慣は継続してできるよう支援している。 ・親戚訪問 ・お墓参り、美容院等	※	今後もさらに支援していきたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 気の合う人とはユニットに関係なく交流ができるようにし、楽しい時間が多く持てるようにしている。孤立しがちな利用者には、状況に応じて、職員が間に入って関わり合えるようにしている。		利用者ができることをそれぞれにしてもらい、一つ屋根の下で共に暮らしていることを支援していきたい。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 近況を聞いたり、他施設を訪問したりしたが、継続的には今の所ない。		必要に応じて、つきあいを継続していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			外出の好きな人は、買い物、散歩、ドライブと誘いかけ、ゆっくりとした生活を望む人には、気の合う人とのお喋りやTV、音楽鑑賞などできるよう、努めている。	※	言葉に表せない人には、表情や普段の生活の中から把握に努めていきたい。
			(外部評価)		
			個別の記録から意向の把握に努めておられる。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入所時に本人、家族に聞いたり、日々の会話の中で、これまでの生活歴を引き出すようにしている。	※	会話が弾む雰囲気作りに一層努める。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			朝・夕のミーティングに時間をかけ、心身の変化に職員全体が把握できるようにしている。	※	細かな気配りをしながら、生活リズムを整えていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			必要に応じて、家族を交えてカンファレンスを行ったり、意向を聞いたりしている。本人は生活の中で読み取り、ケアプランを立てている。	※	家族は「お任せします」という声が多く、言いやすい雰囲気作り、声を聞く姿勢等努力が必要。
			(外部評価)		
			ご家族や主治医、職員の意見を採り入れ、介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			必要に応じて、家族も含めて、カンファレンスや介護計画を立てるようにしている。 家族とは面会時に話し合いをするようにしている。	※	細かな変化に一番気付く担当職員がプランを立てていくようにした。
			(外部評価)		
			基本的には6ヵ月ごとに見直しをされている。カンファレンス・モニタリングを重ね、ずれのないケアを行えるよう計画を立てておられる。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			生活、排泄、食事、水分、バイタルなどの記録他、日々の生活を記録している申し送り簿もあり、毎日目を通すことが習慣化している。		見直しにいかされる変化があれば、小さなことでも、書き表すようにしていきたい。
			(外部評価)		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			デイ利用者が入所になったり、ショートステイの体制を整えている。	※	体制は整えているが、今の所利用はない。 (ショートステイ)
			(外部評価)		
			買物、美容院の送迎を希望に応じて、個別に行っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 自治会、公民館と繋がりがあり、近くの交番からも時々見に来てくれ、地域の中で安心して生活できるようサポートして頂いている。	※	運営推進委員会のメンバーでもあり、今後一層繋がりを強化していきたい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 今の所必要が無く、利用していないが、必要になれば支援したい。	※	要介護4・5の人もおり、理美容サービスなど、他サービスについて知りたい。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議より関係作りはできてきた。	※	活動として、ほとんどしていない。知識も乏しく、今後に期待したい。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人、家族の希望により、かかりつけ医を継続している。その他、担当医により、月2回往診にて健康管理をしてもらっている。		
			(外部評価) 歯科受診については、時間を優遇していただき、必要に応じて診ていただけるようになっている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 担当医が心療内科・精神科もあり、いつでも相談できる体制がある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 医療連携加算に入っていないが、主治医とはいつでも相談できるようにしている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 医療機関や家族との情報交換を密に行い、カンファレンスも参加している。利用者が安心できるよう、様子を見に行くようにしている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期に向けて、主治医と連携できるよう相談している。家族からの意向も聞いている。	※	今の所経験がないが、将来を予想して備えたい。
			(外部評価) 重度化や終末期の対応については、現在、職員は、看護の面での不安を感じておられる。	※	今後の事業所としての体制作り等について、ご本人にかかわるすべての方で話し合うような機会を作ってみてはどうだろうか。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 急変時の対応については、マニュアル等作っている。終末期については、家族との連携が必要であり、相談し合っていきたい。	※	今の所経験がないが、将来を予想して備えたい。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入院されたり、他施設に移る時、安心して今までの生活が継続できるようアセスメント等情報を伝達している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			採用時に個人情報保護法について説明をしている。言葉かけについては、ミーティングや勉強会の時にたびたび話し合いをしている。		慣れが出てくると、うっかりということもあり、意識して対処したい。
			(外部評価)		
			ホーム便り等に利用者の写真を掲示することについて、ご家族の了承を得ている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			理念でもあり、細かいことでも決定できるような言葉かけの配慮をしている。	※	本人の思いや希望が表せやすい雰囲気作りに一層、努めていきたい。
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			ゆっくり、ゆったり、急がないをモットーに、ペース作りをしている。行事や外食など、1人1人に意向を聞いて、楽しく参加できるように声かけしている。	※	ミーティング時などで反省会を開いている。
			(外部評価)		
			事業所では「ゆっくり、ゆったり、急がない」をモットーに利用者とかかわっておられる。精神的に不安定な方については、主治医から利用者に無理強いしないよう指導を受け、職員で共有して取り組まれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 皆さんおしゃれで、服も沢山持っている。 身だしなみの支援も行っている。 いきつけの美容院を希望する人は、家族に協力してもらい、行っている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 毎日の食事は、業者が入っているが、希望により、手作りの日を作ったり、季節の野菜、梅干し、らっきょう等作っている。 (外部評価) 調査訪問時、事業所で料理をされており、献立に季節の野菜や山菜等も採り入れ、利用者と職員で食材等について会話が弾み、楽しく食事をされていた。	※	一人一人の好みを引き出し、メニューに生かしていきたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 現在、たばこを希望する人はいない。 お酒はD r.と相談し、行事の時に出している。 おやつは手作りのものを多くし、好みのものや季節感のある物に努めている。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 現在の状態をたびたび話し合い、排泄のパターンを把握するようにしている。便器や周りを汚さないで次の人が気持ちよく使用できるように等課題多し。	※	プライドやプライバシーを大事にしながら、気持ちよく排泄できるようにしていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			決めている。希望により、毎日入る人もいる。拒否する人には、色々な言葉がけをし、入れるよう支援している。		
			(外部評価)		
			毎日入浴される方、仲良しの方と一緒に入浴されたり、好みの入浴剤を入れて入浴を楽しまれる方もある。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			昼寝、朝寝一人一人習慣があり、支援している。必要に応じて（外出の後など）休息を勧めたりしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			今までの習慣的にしてきたことや、できそうなことをしてもらい、感謝の気持ちを伝えている。閉じこもらないよう、外出の機会を持つように声かけている。	※	外食や外出など、行きたい所、したいことなど、意見が出るように取り組みたい。
			(外部評価)		
			菜園で野菜作りをされたり、折り鶴を折られる方もある。外食時には、事前にゆっくりとメニューを選ぶことができるよう、職員で工夫をされている。	※	さらに、今後、利用者一人ひとりのできる力や趣味を活かした取り組みを行なっていきたいと考えておられた。
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			買い物を楽しめる人は、所持しているが、ほとんどの人は事務所に管理している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			真夏は体調も考慮して、回数が少ないが、毎日のように散歩や外出を支援している。		外出を嫌う人もおり、できるだけ閉じこもらないように勧めたい。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(外部評価)		
			毎朝、遊歩道を散歩されている。車椅子を利用されている方も車椅子対応車でドライブや外出を楽しまれている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			家族の協力も得て、外出への機会を作り、支援している。	※	懐かしい場所や行ってみたい場所へ支援したい。
64		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話は希望があれば使ってもらうが、掛かってくることが多い。年賀状など全員が出せるよう支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			自室にて、気兼ねなく過ごしてもらおう。お茶を出したり、「ごゆっくりどうぞ」と言葉も掛けるよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)		
			理解しており、身体拘束は行っていない。ベッドの安全が確保できない人は、布団にて処理している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)		
			夜間のみ、玄関の施錠を行っている。		
			(外部評価)		
		玄関にチャイムを設置されており、利用者の出入りが分かるようになっている。主治医の意見もあり、ご家族と相談し、室内センサーを取り付けておられる方もあった。			
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)		
			昼夜とも、見守りやすい位置にいて、利用者の様子が察知しやすいようにしている。夜間は、数時間毎に様を確認している。	※	入口からすぐ階段になっており、今後とも安全に留意したい。
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)		
			利用者の状態や状況に応じて、対応している。	※	利用者の変化により、危険物の対応は変わっていくと思われる。その都度考慮していきたい。
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)		
			定期的な消防訓練、事故防止の為に勉強会も行っている。ヒヤリハットなど、記録も残している。	※	今後とも定期的に勉強し、研修にも参加したい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 応急処置やハイムリック法など勉強会を行っている。 マニュアルも作って、目に付く所に貼ってある。	※	新しい職員もおおり、定期的な勉強会が必要である。 救急救命法を早急にとっている。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難訓練を定期的に行っており、隣のマンションが避難場所である。3年前の台風被害から、地域との連携がとれている。 (外部評価) 隣接する施設の職員がいざという時には協力してくれるようになってきている。2階からは、階段を利用し避難訓練を行っておられる。	※ ※	夜間を想定した避難訓練は次回にする予定である。 今後、夜間の火災を想定した避難訓練を行う予定となっていた。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時に家族に説明している。 ケアプランにも取り入れ、自由な暮らしの大切さを考慮し、努めたい。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日々バイタルチェックを行い、記録に残している。 身体状態の変化や異常があった場合は、医師に相談し、話し合い、申し送り等によって職員全体で情報を共有し、対応に努めている。	※	体調変化には、より細かい記録を残し、今後に役立てたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の処方箋は、ファイルにていつでも読めるようにしている。新しい薬は、申し送りにて全職員に知らせている。 必要に応じて、症状の変化の記録もし、医師に知らせている。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 医師にも相談しながら、食事水分量に気をつけている。 散歩や体操など、運動への働きかけもしている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、歯みがきの声かけを行い、一人一人の口腔状態や、力に応じた支援に努めている。 定期的に義歯洗浄も行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事、水分量は記録にて、摂取量が把握できるようにしている。水分が摂れにくい利用者には、好みのものや飲み込みやすい寒天粉等利用している。		
			(外部評価) なるべく食事に汁物を付けるようにされたり、おやつや入浴後、散歩の後に水分摂取できるようすすめておられる。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) インフルエンザは毎年、全利用者、全職員が接種している。その他の感染症は研修に参加したり、マニュアルも作り、予防に努めている。		毎年11月頃予防について勉強会を開いている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 保管、管理方法を取り決め、安全に努めている。 ふきん等は毎食後、消毒をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 季節の草花を置いて、明るく親しみやすい雰囲気 に努めている。	※	デイサービスとの共有部分でもあり、相談しながら工夫したい。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の草花や置物を飾り、使いやすい、動きやすい、目に入りやすい等、居心地のよい空間作りになるようにしている。		
			(外部評価) ほうずきや草花を飾り、季節を感じられる空間作りをされている。長椅子等を利用し、利用者同士がお好きな場所でおしゃべりできるよう工夫をされていた。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) スペースに限りがあるが、居室前での井戸端会議、風呂上がりのほっと一息、廊下の隅などにて、一息つけるよう工夫している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居時に安心して生活できるよう、馴染みの物、今まで使っていた物を持ってきていただくようにしている。家具やベッドの配置も変化のないようにお願いしている。	※	限りのあるスペースで、持ってくる物にも制限があるが、家族へ声かけ、居心地のよい部屋作りにしたい。
			(外部評価)		
			位牌、タンス、鏡、ソファ、時計、テレビ、小さな食器棚等が居室に持ち込まれている。職員の工夫で好きなものを掛けたり、写真等も飾られていた。		
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			入口付近がトイレであり、臭いが気になっていたが、光ファイバーを取り入れたり、消臭剤や換気に努め、大分解消されてきた。	※	衛生面の清潔保持など、引き続き気をつけていきたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			居室や居間だけでなく、風呂場、エレベーター等も安全におくれるように設備や工夫もしている。	※	今後も利用者の状態に応じて、工夫していく用意がある。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			不安や混乱を招かないよう、環境整備に努めている。今の所、確認や錯覚はないが、あればすぐに取り除くよう対処する。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダに物干しがあり、日常的に利用者が出入りし、利用している。裏庭に畑を作り、世話をしたり、ベンチでのんびりできる。	※	構造的にいつでも一人で気軽にというのは難しいが、できるだけ出られるようにしたい。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	意思表示のできにくい利用者にも素振りや表情や感じ取る努力をしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	頭の中で段取りを考えながらも、10時と3時のおやつとコーヒータイムはゆっくりと話しながら過ごす時間を大切にしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	すすめることはするが、基本は自分で決めて選んで好きな時間を自分のペースで暮らしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分の好きなことをしている時は、皆さんとても生き生きとしている。一人一人の好きなことを支援している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行きたい所へはできるだけ支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調変化は毎日の申し送りにて伝達している。主治医にもすぐ相談できる体制がある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時、家族から困っていること、不安に思うことなど伺うようにしている。県外の家族には電話にてコンタクトをとっている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	近くの友達や親戚の人が訪ねて来てくれるが、たまにである。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	少しずつではあるが、グループホームのことを理解していただき、関係が広がっていると思われる。
98	職員は、生き活きと働いている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	どの職員も笑顔を絶やさず、働いています。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	馴染みの関係、信頼関係はできていると思っていたが、まだまだ満足して頂けないと思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族の表情も含め、安心していると言われ、満足して下さっていると思いますが、最近入所した人もおり、これからだと思っています。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・利用者が自宅にいた時と同じように、自由に落ち着いて暮らせるということを大切に考え、努めている
- ・近くの施設や自治会から声かけがあり、地域の行事、イベントに気軽に参加できる
- ・緑に囲まれた自然豊かな環境で、安全できれいな遊歩道が目の前にあり、毎日のように散歩ができる
- ・街からも近く、買い物も気軽に行くことができる
- ・利用者と職員と仲良く、和気あいあいと暮らしている
- ・春の山菜採りや、らっきょう、梅干し作り、畑での収穫など、季節感を大事にしている
- ・職員が笑顔を絶やさず、元気に仕事をしている
- ・手作りおやつを利用者と一緒に作っている
- ・真夏を除くとほぼ毎日、遊歩道を散策したりして、外出の機会を持てる様にしている